

がん教育コーディネーターとしての実践

枕崎市立立神中学校 養護教諭 永田 悦子

はじめに

新中学校学習指導要領の保健分野では、「がんについても取り扱うものとする」ことが明記されました。保健授業を中核としつつ、関連する教科や道徳科、特別活動、総合的な学習の時間など、学校教育活動全体を通してがん教育を行うことが求められています。このことを踏まえ、本校では養護教諭がコーディネーターの役割を担い、学級担任や教科担当、学校医、地域の関係機関などと連携を図りながら、がん教育の充実に向けて取り組むことが必要であると考えました。

実践の内容

本校がん教育の目標

自他の健康と命の大切さについて考え、生きる力を育むがん教育

がん教育校内研修会及び事前調査

各学年や教科等を相互に関連付けて取り組むために、がん教育について校内研修を行いました。がん教育の在り方や外部講師を活用した授業実践、がん教育を実践する上での配慮事項、教材の紹介など、がん教育の実践に向けて全職員で研修を深めました。事前に生徒へ意識調査を行ったことで、「必ず配慮すべき生徒がいる」ことを前提に指導を行うことができました。

掲示コーナーの設置や図書の整備

学校司書と連携して「がん教育関連図書一覧表」を作成し、教室前に関連図書を設置したり、がん教育に関連する掲示コーナーを設置したりして、生徒がいつでも知識を深めることができるようにし、がんは身近なものであることの認識を深める手立てを行いました。【教室前の図書コーナー】



がん教育講演会の開催

近隣のがん専門医を講師に招き、がん教育講演会を開催しました。全生徒、保護者、学校医、医療福祉関係者、地域住民などを対象に158人の参加があり、地域の実情に応じたがん教育推進に向けて取り組みました。

第3学年 がん教育コーディネートの概要

第3学年を中心に保健体育科(保健分野)、道徳科、学級活動のがん教育に係る内容をコーディネートし、文部科学省「がん教育推進のための教材」を活用して教科等横断的な視点で指導を行いました。

1 保健体育科(保健分野)「健康な生活と病気の予防」

指導者：保健体育科教諭、養護教諭

本時は次時の外部講師(がん患者さん)による道徳科授業の事前授業であることから、がんに関する基本的な知識や予防などについて保健体育科教諭とTTで指導を行いました。終末では次時の学習で出会うがん患者さんに対して、聞きたいことを自由に書く活動を行いました。



【互いの考えを発表】

2 道徳科「がん患者さんの思い」

指導者：学級担任、がんサポートかごしま

外部講師との事前打合せでは、授業の流れや発達段階、配慮事項などを確認しました。当日はがん患者さんの体験を聞いて、かけがえのない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に応えようとする心情を育むことをねらいとして授業を進めました。【外部講師による授業】



3 学級活動「がん患者さんとともに」

指導者：学級担任

がん患者さんとの授業を振り返り、がんについて正しく理解することで誰もが暮らしやすい社会につながることを考えました。社会の支援体制や正しい理解をもつことなどについて互いに思いを共有する活動を行いました。

おわりに

養護教諭の専門性を生かしたことで、がん経験者等の外部講師や医療機関、地域と学校との連携、協力を深めることができました。新学習指導要領を踏まえたがん教育の実践に向けて、全教員が指導できる体制を整え、組織的・継続的に取り組めるよう努めていきたいと考えています。